

# ラピッドカー実証実験

## 救急車に医師乗り込み

藤枝市立総合病院は1日、救急車に医師らが乗り込んで直接現場に向かう「ラピッドレスポンスカー」の実証実験を開始した。速やかに医療介入を行うこ

### 藤枝市立総合病院

とで、患者の救命率向上や早期の社会復帰につなげることが狙い。志太榛原地区では初の取り組み。

## 救命率向上に期待

志太消防本部と連携して運用する。消防からの通報を受け、同病院から医師と看護師、救急救命士が救急車に乗り込んで現場に向かう。交通事故や水難事故の現場のほか、脳梗塞や心筋梗塞の患者らに対する運用を想定している。当面は藤枝市内を中心に、平日の日中に運用する。出動回数を重ねて効果が確認できれば、対応時間や対象地域を広げるなど本格的な導入を目指す。

同病院で開始式があり、業務を担当する職員が出席。同病院の救命救急センター所長を務める三木靖雄副院長は「時間が勝負になるケースも多い。医師が現場に向かうことで処置の幅を広げ、救命や症状が軽い段階での治療につなげたい」と話した。

開始式でラピッドレスポンスカーに乗り込む職員＝藤枝市立総合病院



（藤枝支局・岩下勝哉）